

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達支援センターのびろ			
○保護者評価実施期間	2024年12月1日		～	2025年3月1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○従業者評価実施期間	2025年1月1日		～	2025年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数)	2名
○訪問先施設評価実施期間	2025年2月15日		～	2025年3月1日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	6名	(回答数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月3日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・福祉事業所として、児童発達支援・放課後等ディサービスを行っており、通ってこられるお子さんの様子をふまえたうえで、訪問に出かけられる。それぞれの現場での様子を共有することができる。		
2		・訪問先やこどもの実情を踏まえたうえで、より具体的な提案に心がけている。	
3		・こども本人もご家族も支援者である訪問先の職員の皆様も、すべてが主体者であり、それぞれの行動や立ち振る舞いの中で、悪いことを修正するのではなく、良いところを見つけ褒めあう姿勢をもつよう心がけている。	

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・2024年度4月に多機能一体型でスタートしたところで、保育所等訪問支援ニーズに応えきれていない。		2025年度は職員を増員し、保育所等訪問だけでなく、児童発達支援、放課後等ディサービス含めて、よれきめ細かく丁寧な支援を行う予定である。
2			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 こども発達支援センターのびろ

公表日 2025年 3月 15日

利用児童数 6名 (2024年12月1日現在)

回収数 6名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	1	2		3		・基本的には訪問先にある教材や環境を使わせていただいています。その場所でもなう支援の方法を訪問先の皆様と共有するように心がけています。
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	5			1		・のびろには複数の相談室や面談室があり、プライバシーには十分配慮しているつもりですが、ご不安なことがございましたら、ご指摘ください。
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	5	1				
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	6					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	5	1				
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思えますか。	5	1				
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思えますか。	5	1				
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思えますか。	4	1		1		・訪問先の皆様と十二分に意思疎通を図りながら開始しておりますが、その旨をご本人とご家族さまにもお伝えできるよう心がけてまいります。
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思えますか。	3		1	2		・ガイドラインの内容を熟知したうえで、具体的支援内容を設定しています。ご安心ください。
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思えますか。	5		1		・のびろ以外の環境での子供の様子を客観的に観察して、様子を報告して頂いています。	・計画に沿っていないとお感じになった場合、その旨ご指摘ください。真摯に耳を傾けながら再計画いたします。
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思えますか。	4	1		1		・訪問先の皆様と十二分に意思疎通を図りながら行っておりますが、至らない点がありましたら何なりとご指摘ください。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6					・満点をいただきありがとうございます。今後も丁寧な説明を心がけます。
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5			1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	3	1	1	1		・ご家族さまにご参加いただける勉強会や当事者サロンなど随時企画してまいります。
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていますか。	5		1			・その都度ご家族様とお話しする機会を設けておりますが、個別にご希望あれば担当者にお申し付けください。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5		1		・就学前のスケジュールまでも告知してくれ助かっています。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思えますか。	6					・満点をいただきありがとうございます。今後もそのように努めてまいります。
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5	1				
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思えますか。	5	1			訪問支援をしていただいた後、園での状況等を報告してもらっています。	

	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	5		1			
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	5		1			
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	5		1			
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3	1		2		・HPに当センターの理念や方針、支援内容などを掲載しています。ぜひ一度ご覧ください。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6					・満点をいただきありがとうございます。今後そのような努めてまいります。
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	4			2		・訪問先の皆様と十二分に意思疎通を図りながら行ってまいります。
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4			2		・重要事項の説明および契約の際に、お子様の安全確保についてはお話ししているつもりでしたが、ご不安なことがございましたら何なりとお問い合わせください。
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	6					・何よりです。今後も訪問を楽しみにしていただけるよう精進いたします。
	28	事業所の支援に満足していますか。	5	1			・普段の生活で気に留めていない点で細かく観察し、指導・アドバイスをいただきました。ありがとうございました。	・今後満点をいただけるような支援に心がけます。何なりとご指摘ください。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名			公表日			2025年 3月 15日	
こども発達支援センターのびろ			利用児童数			6名（2025年12月1日現在） 回収数 6名	
	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	6			・実際に園生活を見てもらえるので良い。 取り入れる際は園でも工夫を加えている。 ・いつもわかりやすく、丁寧に説明頂いています。 ・児童の実態に合った支援方法を共有でき、取り入れています。		
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	6			・ジェスチャーや絵カードなどのコミュニケーションの方法についてお話しでき、大変満足しています。 ・児の特性に合わせた支援内容、声かけの仕方を教えていただきました。		
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	6			・こちらの意図をしっかりとくみ取って、助言していただいています。 ・専門的な内容について明確にお答えいただいています。 ・電話での質問にも丁寧に答えてもらえたので助かりました。		
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	6			・お子さんの様子は日々変わるので困りごとにつきませんが、手立ての一つとして参考になりました。 ・今養う力、目指すべき方針を学校と貴所で統一して進めていくことができています。 ・ご助言いただいたことを基に少しずつ前に進んでいると感じます。		
5	事業所からの支援に満足していますか。	6			・園だけでは気づけない視点から助言いただき、日々の保育に取り入れることができています。 ・児童の状態や進捗状況を共有しながら取り組むことができています。 ・異なった目線から助言や意見をもらえることは良いと思います。		
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応		
・ご助言やご説明がとても分かりやすく、ご本人への関わり方に関して不安に思っていたことが解消されました。ご支援に感謝しています。 ・〇〇先生には大変お世話になっております。保育所等訪問で月に1回来園して頂きアドバイスを頂いています。アドバイスはもちろん、担当の職員がやってきたことを認めてくれて、ほめて頂けることで、士気上がりうれしい限りです。お忙しいとは思いますが、これからもご助言頂きますよう宜しくお願い致します。 ・子どもの接し方、体のづくり、車椅子、ベッドの事、その他、いつもわかりやすく親身になって相談に乗って頂き、自分の視野が広がったり、気づきをいただきました。本当に訪問支援サービスを利用してよかったです。 ・保護者、施設、学校の連携が深まることが何よりで、子どもにとって有益であると思っています。 ・いつもお世話になり、ありがとうございます。					・多くのお褒めのお言葉をいただき、ありがとうございました。 ・訪問先の諸先生方におかれましては、いつも当センターの保育所等訪問事業にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。来年度は、よりこどもたちの生活や学びの場であるみなさまのところにお伺いできるよう保育所等訪問担当職員を増やす計画です。私たちにとっても現場の先生方からのご意見やご指導が一番力になりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こども発達支援センターのびろ					公表日 2025年 3月15日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点		
環 境 ・ 体 制 ・ 整 運 備 営 ・	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	2		基本的には訪問先にある教材を使用し、その 使い方について訪問先と共有している。			
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	2			来年度、増員予定		
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	2		月に2回、全職員が一堂に会して行う会議を 実施。方針や運営、利用者情報を共有してい る。			
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設け ており、その内容を業務改善につなげているか。	2					
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	2					
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。	2		今年度は小児療育に詳しい医師を招き、のび ろ生活プログラムと小集団プログラムについ て指導をいただいた。			
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	2					
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	2					
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2		月に2回、全職員ですべての利用児について の情報を共有、検討している。常にこどもの 権利と最善の利益に心配るよう指導してい			
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2					
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	2					
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー マルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	2					
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。	2					
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	2					
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行ってい るか。	2					
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2		その日のうちに各プログラム終了後に振り返 りの時間を取っている。			
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。	2					
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善 に繋げているか。	2					
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育 所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っ ているか。	2					

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2			
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2			
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2		福井市自立支援協議会子ども部会委員を拝命している。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	2			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		2		来年度後半には、事業所として何らかの形で家族支援プログラムを行う予定。事前周知に努める
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	2			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	2			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	2			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	1	地域障がい児支援体制強化事業の中で、保護者間で話し合える場を提供している。一方、きょうだい間交流の企画は未実施。	来年度以降、のびろにおいて保護者サロンの会を設けられないか検討している。きょうだい交流については、そのニーズの有無についてリサーチしたい。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2			
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2			
訪問先施設への説明等	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2			
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	2			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2			
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	2			
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2			

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2			
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2		事業所内にインシデント委員会設置し、全職員に「まずは気づくこと、レポート提出はみんなのため」を徹底している。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2		県や市が実施する研修には積極的に参加している。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2		契約書、重要事項説明書、個別支援計画それぞれに、記載・説明している。	